

NO.	要件	実現可否
<b>連携サーバ</b>		
1	マイナポータル(ぴったりサービス)から連携される申請データを、マイナポータル(ぴったりサービス)申請データダウンロード機能から遅滞なくダウンロードできること。なお、手続き毎の種類想定される最大値は1,200程度であり、手続き毎の件数の想定される最大値は150,000件/年である。	
2	マイナポータル(ぴったりサービス)申請データダウンロード機能以外に外部と接続できないよう接続制限を行うこと。	
3	ダウンロードする申請データには個人情報が含まれるため、申請データが連携サーバに長時間残留しないよう定期的に削除する仕組みを構築すること。	
4	「ファイル連携方式」または「プロキシ方式」のいずれかの方法により、申請管理システムへデータを転送できること。	
<b>ファイアウォール(LGWAN接続系NW⇔マイナンバー利用事務系NW)</b>		
1	LGWAN系ネットワークと個人番号利用事務系ネットワーク間に境界ファイアウォールを設置すること。	
2	DMZを構成のうえ連携サーバを構築すること。	
3	「自治体の行政手続のオンライン化に係る申請管理システム等の構築に関する標準仕様書」(令和3年9月30日付 総務省発行)におけるp8,9の3.1.1に記載された内容の通信制御を行うこと。	
<b>申請管理システム</b>		
1	本市で運用している住民記録システムと連携し、番号紐付情報の差分データを受領のうえ、申請管理システムが持つ番号紐付情報を更新する機能を実装すること。	
2	連携サーバから申請データを遅滞なく取込できること。なお、手続き毎の種類想定される最大値は1,200程度であり、手続き毎の件数の想定される最大値は150,000件/年である。	
3	マイナポータル(ぴったりサービス)申請データダウンロード機能から連携される申請データ(ZIPファイル)を展開し、データや添付ファイルを申請データのデータベースに格納できること。	
4	申請データ(ZIPファイル)の電子署名検証結果データにあるシリアル番号について、番号紐付情報により宛名番号に変換し、申請データのデータベースに格納できること。 (宛名番号:既存の業務システムが個別に保有している宛名情報(氏名・住所などの基本4情報や送付先住所など)を統合・管理し、さらに自治体で個人を一意に特定できる番号のこと。団体内宛名統合システムにおいて個人番号と紐付けて管理されている。)	
5	項番4と同様に申請データ(ZIPファイル)のシリアル番号を宛名番号に変換後、団体内統合宛名システムの団体内統合宛名番号紐付情報を参照し、宛名番号を団体内統合宛名番号に変換して申請データのデータベースに格納できること。	
6	申請データの画面照会機能を実装すること。	
6(1)	画面照会機能では、各申請業務について任意の業務コードを設定し、マイナポータル(ぴったりサービス)の手続コードとの紐付登録を行えること。	
6(2)	画面照会機能では、ログインユーザーの登録やユーザーごとに利用できる機能、参照可能な手続きの設定ができること。	
6(3)	画面照会機能では、連携データに対して申請日や手続等の条件に応じた検索や抽出が行えること。	
6(4)	画面照会機能では、申請書のイメージや添付ファイルが表示できること。	
6(5)	画面照会機能により、必要に応じて担当者が宛名番号等を手動で入力して検索や抽出を行えること。	
6(6)	画面照会機能では、連携データごとに審査状況のステータスを設定する区分(未審査、審査中、審査完了、却下等)を設定し、審査状況に応じてステータスを変更できること。	
6(7)	画面照会機能では、権限設定や操作履歴等の管理機能を持つこと。	

NO.	要件	実現可否
6(8)	ユーザーアカウントの機能を制限なく利用できること。なお、ユーザーアカウント数(利用者数)は、最大で2,300アカウント(庁内ユーザー数)とする。	
7	項番6(6)でステータスが「審査完了」に変更された申請データは、既存の業務システムが取込可能な状態とすること。	
8	ファイル公開領域を設定し、既存の業務システムが申請データを一括取込できる仕組みを実装すること。なお、ファイル公開領域は、業務システムごとに必要な申請データのみ参照できるよう、各申請業務等の単位で適切なアクセス権の設定を行えること。	
<b>ログ管理機能</b>		
1	本システムに関する各種ログ(エラーログ、メール送信ログ等)を自動収集し、180日以上保管する仕組みを構築すること。	